

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

(2023年9月～2024年8月)



発行日：2024年 9月 23日

株式会社 アイチ.

目 次

<u>はじめに・・・</u>	1P
<u>1.組織の概要</u>	2P～4P
<u>2.環境経営方針</u>	5P
<u>3.環境経営目標</u>	6P～7P
<u>4.環境経営計画</u>	8P～10P
<u>5.環境への取組状況</u>	11P～15P
<u>6.環境経営目標の実績</u>	16P～19P
<u>7.環境経営計画の実施評価</u>	20P～21P
<u>8.次年度の環境経営目標</u>	22P～23P
<u>9.次年度の環境経営計画</u>	24P～25P
<u>10.環境関連法規等の遵守状況</u>	26P
<u>11.代表者の全体評価と見直し指示</u>	27P

はじめに・・・

株式会社 アイチ. は、2017年 代表取締役 葛城 亮の指示のもと、エコアクション21(以下、EA21と称する)認証登録取得を目指すことにしました。

当社は、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、再生路盤材の製造・販売を行っており、環境問題に大きく関わる企業として、全従業員一丸となって自主的・積極的にEA21に取り組んでいきます。



※写真はトレーラーダンプです

「愛を地球に」

未来の循環型社会にむけて…

私たちは、豊かな環境を次の世代へ受け継ぐため、都市開発工事と、それにとまうリサイクル問題へ積極的に取り組んで参りました。福岡市東区東浜のリサイクルプラントで産業廃棄物の再資源化を行い、製造された高品質な再生材は当社で再利用・販売をしております。人と自然の調和を目指し、充実した設備と確かな技術をもって社会のニーズにお応えします。



1.組織の概要



1)会社名・代表者名

株式会社 アイチ.
代表取締役 葛城 亮

2)本所在地

福岡県福岡市東区東浜2丁目85-24
TEL (092-642-1101)
FAX (092-642-1102)

3)創立年月日

2007年5月18日

4)資本金

5,000万円

5)売上高

14.7億円 (2023年度)

6)従業員数

48 名

7)事業年度(活動年度)

9月～翌年8月

8)事業内容(認証・登録)

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、再生路盤材の製造・販売



9)対象範囲

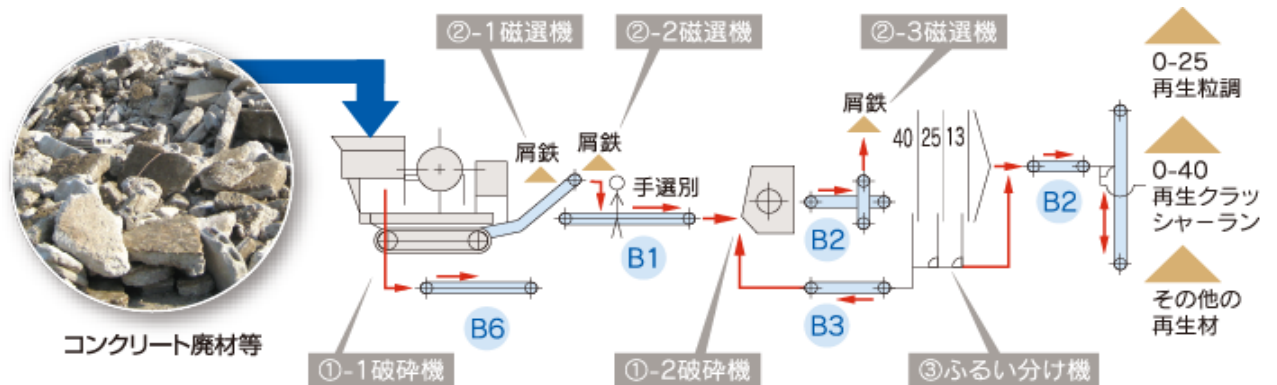
本 社 株式会社 アイチ. (全組織・全活動)
環境管理責任者 近藤 隼斗
認証登録番号 0012351

※関連会社

アスミオ. 株式会社

10) 処理実績(2023年度)

・中間処理量	256,661 t
・収集運搬量	2,172 t
・コンクリート殻	246,194 t
・アスファルト殻	6,702 t
・その他がれき類	1,675 t
・金属くず	1,898 t
・処理残差物(木くず・紙くず)	192 t



※その他廃材等



アスファルト殻



その他がれき類

11) 許可の内容(産業廃棄物処理業)

- ・処分業許可番号 07720138092(福岡市)
- ・許可年月日 2023年 3月 27日
- ・有効年月日 2028年 3月 26日
- ・産廃の種類 ガラスくず及び陶器くず
(石膏ボードを除く)がれき類、以下余白

※主な材料



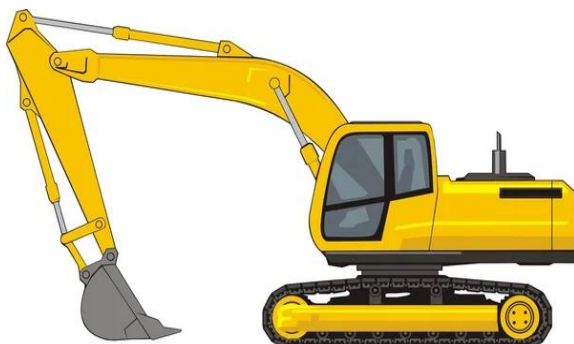
RC40(再生クラッシャーラン)



RM25(再生粒調度碎石)

12) 許可の内容(産業廃棄物収集運搬業)

- ・収集運搬業許可 04000138092(福岡県)
- ・収集運搬車両 4トンドンプ 3台
- ・許可年月日 2023年 9月 27日
- ・有効年月日 2028年 9月 26日
- ・その他保有機械

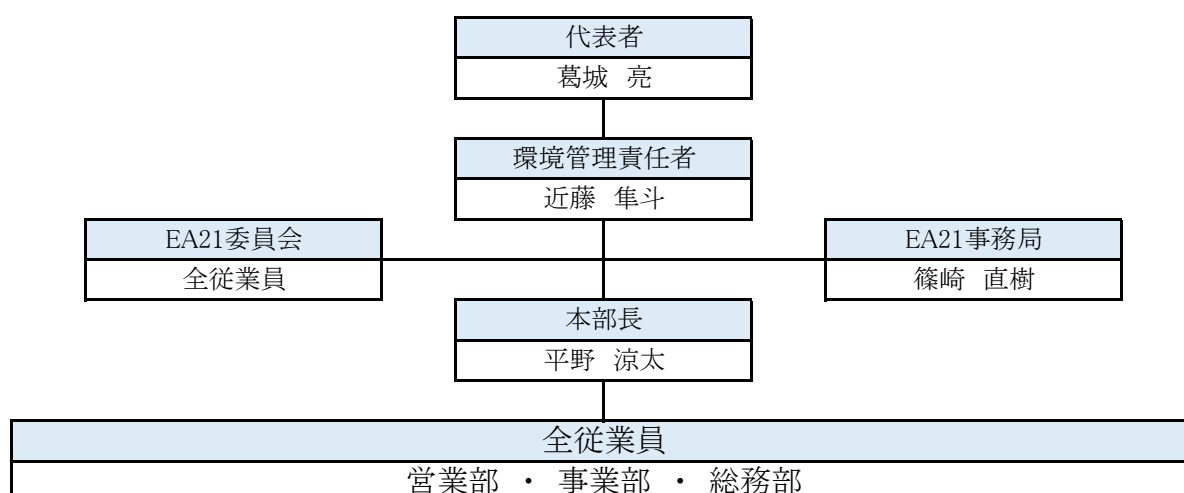


パワーショベル 6台



ホイールショベル 2台

13)組織図



所属	役割・責任・権限
代表者	- 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 - 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 - 環境管理責任、EA21事務局員を任命する。 - 環境への取組を実施する為の資源(人、もの、金)を準備する。 - EA21全体の取組状況に関し評価見直しを実施する。 - 経営における課題とチャンスを計画にする。
環境管理責任者	- EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境実績を向上させる - 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 - 月に1回EA21委員会を開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を毎月確認・評価する。 - 上記の結果を代表者に報告する。
EA21事務局	- 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う - 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
EA21委員会	1ヶ月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を審議(確認・評価)する。 - 問題点が発生した場合、更生処置を検討する。
本部長	- 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 - 環境経営目標達成の為、責任を持って、自部門の環境活動を推進する。 - 自部門で発生した問題点の更生処置、予防処置を実施する。 - 自部門に関連する法規等を遵守する。 - 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 - 自部門の教育、訓練を実施する。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を理解する。 - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

2.環境経営方針

株式会社アイチ。「愛を地球に」未来の循環型社会にむけて・・・を設立目的とし、豊かな環境を次の世代へ受け継ぐ為、リサイクル問題へ積極的に取り組んで参ります。

産業廃棄物処理業務を通じて、全従業員が地球環境保全の為に環境負荷を低減する事を目指し、住みやすい街づくり活動を行います。

(1) 事業活動における環境への負荷の特徴・課題とチャンス

当社の二酸化炭素排出量の8割以上を占める電力・燃料の削減に努めてまいります。受託した産業廃棄物の再資源化を行い、製造された高品質な再生材の再利用、販売をしており、リサイクル率の向上と営業努力によってさらに販売・購入の推進を図っていきます。それに伴い粉塵被害による環境への負荷、人体への負荷が考えられる為、散水作業を徹底してまいります。年間に消費する工業用水も大きなものと考えており、節水にも努めてまいります。

産業廃棄物の受託の際に発生するマニフェスト処理の人件費(人手不足、返送の為の郵送費、保管期間満了のマニフェスト処理費)など、色々な問題を抱えています。当社の全顧客電子化に努めてまいります。

(2) 環境への取組の重点分野

- 1) 電力・燃料の省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- 2) グリーン製品の販売・購入の推進
- 3) 受託した産業廃棄物のリサイクル率を向上します。
- 4) 節水に努め、工業用水を削減します。
- 5) マニフェストの全電子化に努めてきます。
- 6) 環境経営の継続的改善に努めます。

(3) 当社の事業に関連する環境関連法規を遵守します。

制定日 2017年 9月 1日

改訂日 2020年 4月 1日

株式会社 アイチ.

代表取締役 葛 城 亮

3.環境経営目標（2023年度）

◆ 本業目標

当社はEA21委員会を中心に環境負荷の削減を目標として、自己チェック結果をもとに、目標を設定します。

前年度の実績から見直しを行い、以下の3項目になります。

- 2.グリーン製品の販売・購入の推進①RC40・RM25の販売
- 4.工業用水量の削減
- 5.マニフェストの全電子化推進

◆ 備考

- ✓ CO2排出係数、(株)新出光 0.497kWh(令和3年度調整後排出係数)を令和5年6月から現在まで使用しています。
- ✓ 現地審査員の指示にて、2023年度の環境経営目標の実績から原単位を使用します。使用する項目は、以下のとおりです。
 - ・（ 1.CO2排出量の削減、①電気使用量の削減 ）
 - ・（ 1.CO2排出量の削減、③軽油使用量の削減(重機) ）
- ✓ 環境経営目標の（ 3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上 ）に処理量を記載します。
- ✓ 化学物質は使用していないので目標から除外した。

環境経営目標		(基準年)2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
1.CO2排出量の削減	総量	1,153,632	1,142,096	1,130,559	1,119,023
	(kg-CO2)		(1%減)	(2%減)	(3%減)
	①電気使用量の削減	総量	441,464	437,005	432,545
		原単位	0.55(1%減)	0.55(2%減)	0.55(3%減)
		(処理量/kWh)			
	②ガソリンの使用量削減	総量	6,820	6,751	6,682
		(L)	(1%減)	(2%減)	(3%減)
	③軽油使用量の削減(重機)	総量	347,878	344,364	340,850
		(L)			
		原単位	0.70(1%減)	0.70(2%減)	0.70(3%減)
		(処理量/L)			
④軽油使用量の削減(4tD)	総量	11,916	11,796	11,678	11,559
	(L)		(1%減)	(2%減)	(3%減)

注) 処理量(中間処理量)：基準年実績値(2022年度) 242,929 t/年

3.環境経営目標（2023年度）

環境経営目標		(基準年)2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
2.グリーン製品の販売・購入の推進					
①RC40・RM25販売量	総量 (m ³)	188,079	189,960	191,841	193,721
			(1%増)	(2%増)	(3%増)
②グリーン製品の購入	総量 (件)	7	8	9	10
			(1件増)	(2件増)	(3件増)
3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	総量 (t)	242,929	100%	100%	100%
	処理率 (%)	100%			
4.工業用水量の削減	総量 (L)	27,937	27,658	27,378	27,099
			(1%減)	(2%減)	(3%減)
5.マニフェストの全電子化推進	比率 (%)	39	40	41	42
			(1%増)	(2%増)	(3%増)

4.環境経営計画 その1 (2023年度)

◆ 全体計画

当社の経営目標を達成する為の概要を、EA21委員会を通して、主旨、体制、及び具体策を徹底する。環境配慮の取組状況を合理的で無理のない計画を進めていきます。

◆ 経営計画の担当者及び日程と活動項目の内容

1.CO2排出量の削減 ①電気使用量の削減

担当者 総務部 8月～翌年9月 (1) 室温の設定温度(冷房27℃暖房25℃)を決め実行します。

担当者 総務部 1回/月 (2) 事務所内、プラント内の定期点検・清掃の実施します。
担当者 事業部

担当者 総務部 8月～翌年9月 (3) 事務所内、プラント内の不要な照明の消灯を忘れずに行います。
担当者 事業部

担当者 総務部 8月～翌年9月 (4) PCの消し忘れの確認を行います。

1.CO2排出量の削減 ②ガソリン使用量の削減

担当者 営業部 8月～翌年9月 (1) アイドリングの手順を決め実行します。

担当者 営業部 8月～翌年9月 (2) エコドライブの実施を行います。(急発進、急加速をやめる)

1.CO2排出量の削減 ③軽油使用量の削減(重機)

担当者 事業部 8月～翌年9月 (1) 作業終了後に記録をおこない、把握します。

担当者 代表者 不定期 (2) 低燃費使用の機械の変更・購入を推進します。

担当者 事業部 8月～翌年9月 (3) 破碎機等の無負荷運転を削減していきます。

1.CO2排出量の削減 ④軽油使用量の削減(4tダンプ)

担当者 運輸部 8月～翌年9月 (1) エコドライブの実施(過重超過の運搬やめる)をおこないます。

担当者 運輸部 8月～翌年9月 (2) タイヤの空気圧点検を欠かさず行います。

2.グリーン製品の販売・購入の推進 ①RC40(再生クラッシャーラン)・RM25(再生粒調度砕石)販売量

担当者 営業部 8月～翌年9月 (1) 営業活動による販売の推進を行います。

担当者 事業部 8月～翌年9月 (2) 毎日の品質管理を徹底します。(ゴミ拾い・仕分け等)

2.グリーン製品の販売・購入の推進 ②グリーン製品の購入の推進

担当者 総務部 1回/月 (1) 購入の推進の記録を行います。

3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上

担当者 事業部 8月～翌年9月 (1) 安定した処理速度の遵守します。

担当者 事業部 8月～翌年9月 (2) 受託した廃棄物の選別をします。

4.工業用水量の削減

担当者 総務部 1回/月 (1) 節水の呼び掛けを行います。事務所内はもとより、工場内の(適正な散水による粉塵の抑制)
担当者 事業部

担当者 総務部 8月～翌年9月 (2) 蛇口の閉め忘れ確認
担当者 事業部

5.マニフェストの全電子化推進

担当者 総務部 1回/月 (1) 契約数の把握・記録を行います。

担当者 総務部 8月～翌年9月 (2) お客様への呼び掛けを行います。
担当者 営業部

4.環境経営計画 その2 (2023年度)

◆ 計画の概要

各目標に計画項目を設定し、EA21委員会で各担当者を決めます。実施状況の判定は各担当者が、月事で5段階評価おこない、点数を用いて3か月/期評価点、四半期総合点から再度5段階評価をおこない、目標実績と比較していきます。

実施状況の判定区分は以下の通りです。

◎：取組がよく実施されている	(評価点) 4点	(期評価) 12点	(四半期評価) 48点
○：取組が実施されている	(評価点) 3点	(期評価) 11～9点	(四半期評価) 47～36点
△：十分ではない	(評価点) 2点	(期評価) 8～6点	(四半期評価) 35～24点
×：実施されていない	(評価点) 1点	(期評価) 5～1点	(四半期評価) 23～1点
—：判定不可	(評価点) 一点	(期評価) 一点	(四半期評価) 一点

◆ 環境経営計画

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2022年度			2023年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
1.CO2排出量の削減						
①電気使用量の削減	(1)室温の設定温度(冷房27度、暖房25度)を決め実行する。	—	36	○	36	○
	(2)定期点検・清掃の実施	—	36	○	36	○
	(3)不要な照明等の消灯	—	36	○	36	○
	(4)PCの消し忘れの確認	—	36	○	36	○
②ガソリン使用量の削減	(1)アイドリングの手順を決め実行する	—	36	○	36	○
	(2)エコドライブの実施	—	36	○	36	○
③軽油使用量の削減(重機)	(1)使用後の記録	—	36	○	36	○
	(2)低燃費使用の機械の選択	—	36	○	36	○
	(3)破砕機等の無負荷運転の実施	—	36	○	36	○

4.環境経営計画 その2 (2023年度)

◆ 環境経営計画

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2022年度			2023年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
1.CO2排出量の削減						
④軽油使用量の削減 (4tD)	(1)エコドライブの実施	—	36	○	36	○
	(2)タイヤの空気圧点検	—	36	○	36	○

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2022年度			2023年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
2.グリーン製品の販売・ 購入の推進						
①RC40・RM25販売 量	(1)営業活動による販売 の推進	—	36	○	36	○
	(2)毎日の品質管理	—	36	○	36	○
②グリーン製品の購 入	(1)購入の推進	—	36	○	36	○
3.受託した産業廃棄物 のリサイクル率の向上	(1)安定した処理速度の 遵守	—	36	○	36	○
	(2)受託した廃棄物の選 別	—	36	○	36	○
4.工業用水量の削減	(1)節水の呼び掛け(適 正な散水による粉塵の 抑制)	—	36	○	36	○
	(2)蛇口の閉め忘れ確認	—	36	○	36	○
5.マニフェストの全電子 化の推進	(1)契約数の確認	—	36	○	36	○
	(2)お客様への呼び掛け	—	36	○	36	○

5.環境への取組状況 その1

当社はSDGsを目標に活動していきます。



17 パートナリプで
目標を達成しよう



◆ 安全看板

毎朝礼に活用しています。
毎月の無事故時間の記載や、安全担当者の記載、
EA21の目標や実施体制なども活用



◆ 事業部

毎朝礼、KY活動、その他報告を実施しています。



◆ 営業部

週の予定や、売上状況、今後の展開などを報告。毎
週会議を実施しています。



5.環境への取組状況 その2

4
質の高い教育を
みんなに

8
働きがいも
経済成長も

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

◆ 総務部



ご来店されるお客様、電話対応、マニフェストの処理
など、良品質なサービスを実施しています。

7
エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

13
気候変動に
具体的な対策を

◆ 主な活動

4
質の高い教育を
みんなに

温度管理や反感応式照明、消し
忘れの確認などを行っています。



4
質の高い教育を
みんなに

裏紙の活用を推進しています。



12
つくる責任
つかう責任

マニフェストの管理をしています。
電マニの推進を行っています。



12
つくる責任
つかう責任

紙ごみ類と分別しています。



5.環境への取組状況 その3

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



◆ 主な活動

持込まれた産業廃棄物を重機で破砕します。

〈産業廃棄物の種類〉

コンクリート殻



アスファルト殻



その他がれき類





9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



◆ 主な活動

破砕した産業廃棄物をプラント内に投入します。



4 質の高い教育をみんなに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



ベルトコンベアから流れてくる製品の中の不純物を取除く作業をして、品質管理を行っています。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



製造作業で出たゴミを産廃業者に委託しています。※主に木くず・紙くず



5.環境への取組状況 その4

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



◆ 主な活動

出来上がった製品を攪拌しながら噴出している状況です。散水作業を行いながら作業をしています。



〈製品の種類〉

再生クラッシャーラン(RC40)



再生粒調度碎石(RM25)



再生単粒碎石(40-25)



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



◆ 主な活動

工業用水のタンクです。製造作業などで出る粉塵対策の為の散水や車両の搬入出時のプール、道路清掃などに使います。



15 陸の豊かさも守ろう



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



施設内の工業用水です。状況に応じて清掃に使用します。



15 陸の豊かさも守ろう



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

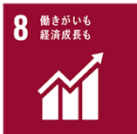


車両搬入出時のプールです。道路を汚さない為に活用しています。



5.環境への取組状況 その5

◆ 主な活動



国際技能実習生の教育状況です。毎年入替りで4名が入社してきます。



◆ 主な活動



毎週月曜日は、場内、場外のゴミ拾いや、草刈りなどを行っています。



◆ 主な活動



始業前のタイヤの空気圧点検、運行管理等も毎日おこなっています。

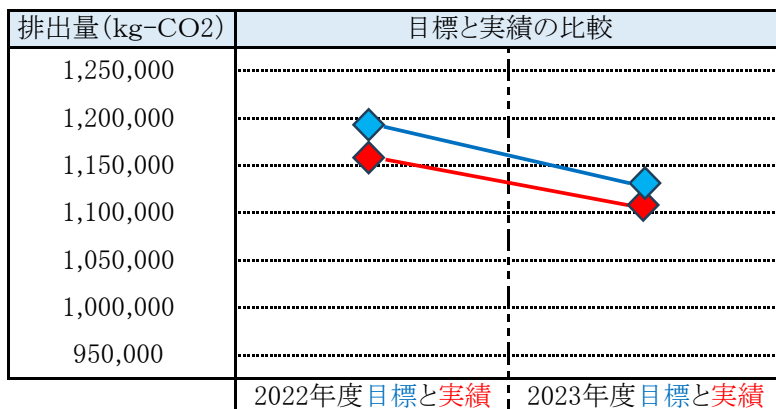


6.環境経営目標の実績（2023年度）

◆ 達成状況

1.二酸化炭素排出量の削減

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(kg-CO ₂)			1,190,266	1,142,096		
実績(kg-CO ₂)			1,153,632	1,125,666	101	○



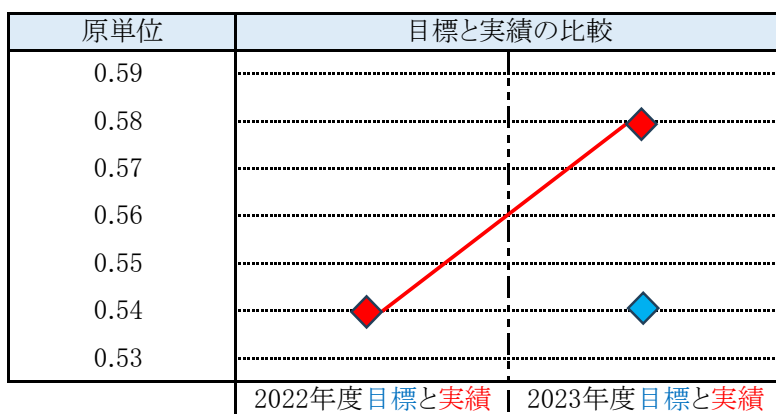
〈コメント〉

今期も目標達成できました。今期から原単位でモニタリングしていく項目があるので、今期の実績から再度、目標値を設定します。

1.二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減※原単位（中間処理量あたりの消費量）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(kWh)			451,982	441,464		
実績(kWh)			445,923	438,760		
受託処理量(t)			242,929	256,651		
目標(原単位)			—	0.55		
実績(原単位)			0.54	0.58	106	○



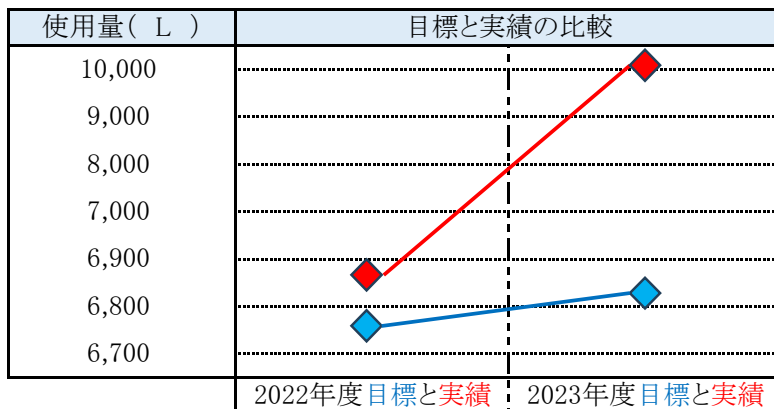
〈コメント〉

中間処理量の如何により消費量が変動することから、今期から原単位を使用します。2022年度の実績原単位0.54を基準に目標値を設定しました。前年度の処理量と電力使用量を比較してみても、今期は削減傾向が伺えました。今期の実績から新たに目標値を設定していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

② ガソリン使用量の削減

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(L)			6,748	6,820		
実績(L)			6,889	10,250	67	×



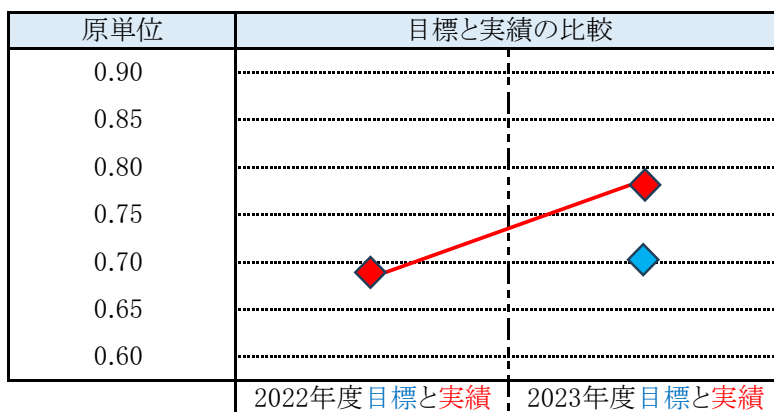
〈コメント〉

今までは、社用車のみの管理だったのが、今期から営業車(社用車、個人車)のガソリンはすべて会社管理となった為、前年度と比べて、大きく上回りました。今期の実績値から再度、目標値を設定して、モニタリングを行います。

1. 二酸化炭素排出量の削減

③ 軽油使用量の削減(重機)※原単位(中間処理量あたりの消費量)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(L)			361,733	347,878		
実績(L)			351,392	329,486	111	○
受託処理量(t)			242,929	256,651		
目標(原単位)			—	0.70		
実績(原単位)			0.69	0.78		



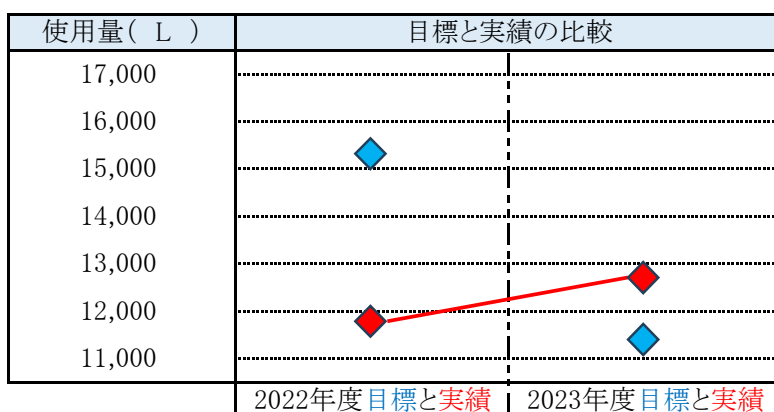
〈コメント〉

中間処理量の如何により消費量が変動することから、今期から原単位を使用します。2022年度の実績原単位0.69を基準に目標値を設定しました。今期の受託処理量は前年度より増えているが、軽油消費量は前年度より削減できています。今期の実績から新たに目標を設定して、モニタリングしていきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

④ 軽油使用量の削減(4tD)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(L)			15,397	11,796		
実績(L)			11,916	12,812	92	△



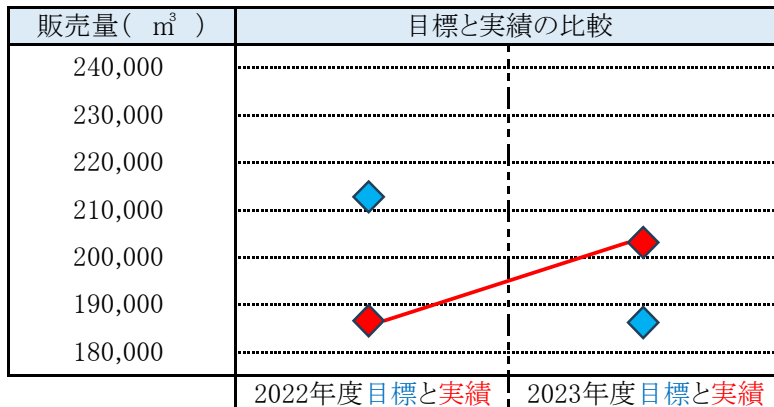
〈コメント〉

仕事量の如何によって、使用量が大きくもなれば小さくなることから、目標値の設定が難しいので、毎期ごとの実績から目標値を設定します。今期は、目標達成できませんでした。

2.グリーン製品の購入量

①RC40・RM25販売量

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(m ³)			212,379	189,960		
実績(m ³)			188,079	202,074	106	○



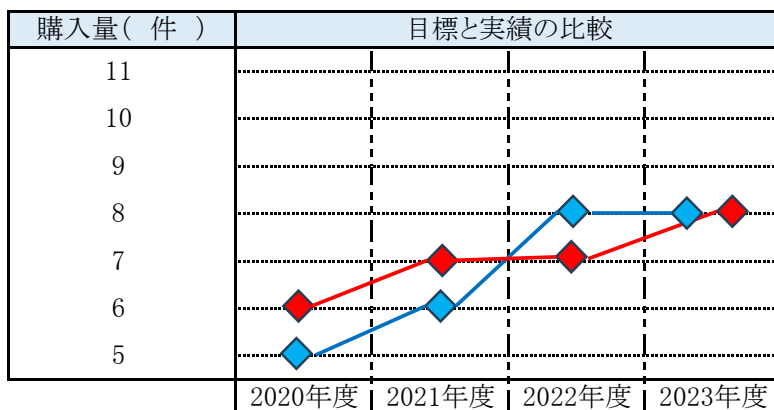
〈コメント〉

今期は目標達成できました。他業者との差別化を明確にしていき、さらに飛躍していけるよう、営業努力をいしていきます。

2.グリーン製品の購入量

②グリーン製品の購入量

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(件)	5	6	8	8		
実績(件)	6	7	7	8	100	○

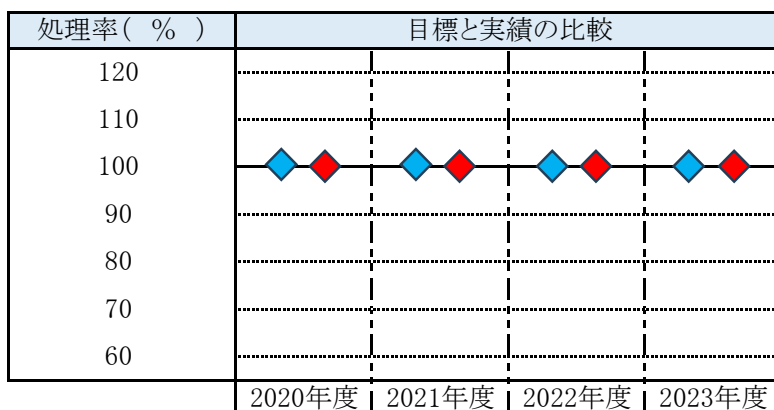


〈コメント〉

今後も積極的に購入を進めていきます。

3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
受託量(t)	347,409	285,198	242,929	256,651		
処理量(t)	347,409	285,198	242,929	256,651	100	○
目標(%)	100	100	100	100		
実績(%)	100	100	100	100		

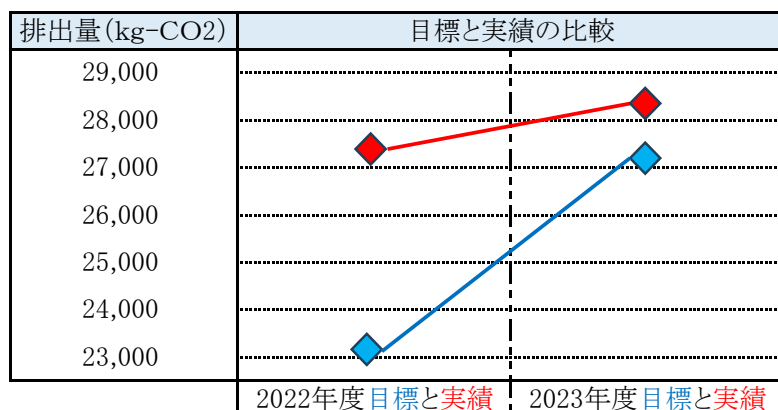


〈コメント〉

今期も安定していた。

4.工業用水量の削減

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
目標(m ³)			23,342	27,658		
実績(m ³)			27,937	28,208	98	△

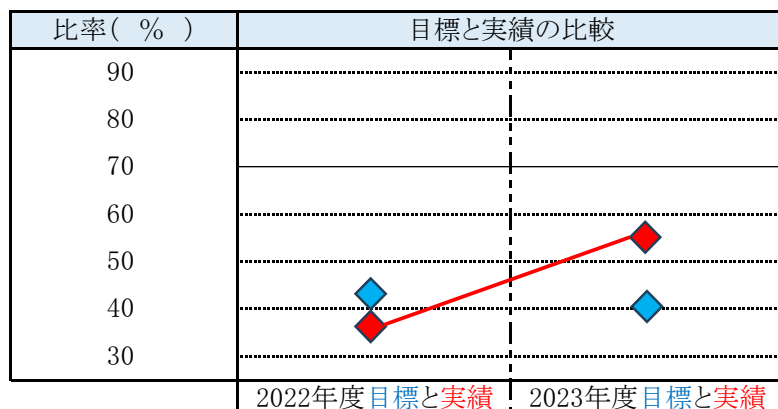


〈コメント〉

前年度同様、今期も目標達成できませんでした。ただし、目標値と実績値に関していえば、あまり大きな差はなく、あと少しで目標達成でしたので、今期の実績から再度目標値を設定します。

5.マニフェストの全電子化推進

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	達成率(%)	5段階評価
電子(件)			15,340	19,726		
紙(件)			38,634	35,595	138	◎
目標(比率)			42	40		
実績(比率)			39	55		



〈コメント〉

次年度から目標値の設定を変更します。変更する計算式は以下のとおりです。

※変更前(～2022年、2023年度)

$$\frac{\text{電子(実績件数)}}{\text{紙(実績件数)}} \times 100\% = \text{比率値}$$

※変更予定(2024年度～)

$$\frac{\text{電子(実績件数)}}{\text{電子+紙}} \times 100\% = \text{割合値}$$

7.環境経営計画の実施評価（2023年度）

◆ 計画の概要

各目標に計画項目を設定し、EA21委員会で各担当者を決めます。実施状況の判定は各担当者が、月事で5段階評価おこない、点数を用いて3か月/期評価点、四半期総合点から再度5段階評価をおこない、目標実績と比較していきます。

実施状況の判定区分は以下の通りです。

◎：取組がよく実施されている	（評価点） 4点	（期評価） 12点	（四半期評価） 48点
○：取組が実施されている	（評価点） 3点	（期評価） 11～9点	（四半期評価） 47～36点
△：十分ではない	（評価点） 2点	（期評価） 8～6点	（四半期評価） 35～24点
×：実施されていない	（評価点） 1点	（期評価） 5～1点	（四半期評価） 23～1点
—：判定不可	（評価点） 一点	（期評価） 一点	（四半期評価） 一点

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分							
		9～11月	12～2月	3～5月	6～8月	四半期評価		5段階評価	
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	実績	目標	実績	目標
1.CO2排出量の削減									
①電気使用量の削減	(1)室温の設定温度(冷房27度、暖房25度)を決め実行する。	11	12	12	8	43	36	○	○
	(2)定期点検・清掃の実施	12	12	12	4	40	36	○	○
	(3)不要な照明等の消灯	9	8	9	9	35	36	△	○
	(4)PCの消し忘れの確認	6	8	9	9	32	36	△	○
②ガソリン使用量の削減	(1)アイドリングの手順を決め実行する	9	6	6	6	27	36	△	○
	(2)エコドライブの実施	9	6	6	6	27	36	△	○
③軽油使用量の削減(重機)	(1)使用後の記録	9	9	9	9	36	36	○	○
	(2)低燃費使用の機械の変更	—	—	—	—	—	36	—	○
	(3)破碎機等の無負荷運転の実施	8	12	11	9	40	36	○	○

7.環境経営計画の実施評価（2023年度）

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分							
		9～11月	12～2月	3～5月	6～8月	四半期評価		5段階評価	
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	実績	目標	実績	目標
1.CO2排出量の削減									
	④軽油使用量の削減(4tD)								
	(1)エコドライブの実施	7	7	7	8	29	36	△	○
	(2)タイヤの空気圧点検	9	9	9	9	36	36	○	○

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分							
		9～11月	12～2月	3～5月	6～8月	四半期評価		5段階評価	
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	実績	目標	実績	目標
2.グリーン製品の販売・購入の推進									
	①RC40・RM25販売量								
	(1)営業活動による販売の推進	9	10	9	9	37	36	○	○
	(2)毎日の品質管理	9	9	7	7	32	36	△	○
	②グリーン製品の購入								
	(1)購入の推進	9	9	9	9	36	36	○	○
3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上									
	(1)安定した処理速度の遵守	9	9	9	9	36	36	○	○
	(2)受託した廃棄物の選別	9	9	7	7	32	36	△	○
4.工業用水量の削減									
	(1)節水の呼び掛け（適正な散水による粉塵の抑制）	8	9	9	6	32	36	△	○
	(2)蛇口の閉め忘れ確認	8	9	9	6	32	36	△	○
5.マニフェストの全電子化の推進									
	(1)契約数の確認	12	12	12	12	48	36	◎	○
	(2)お客様への呼び掛け	9	9	9	9	36	36	○	○

8.次年度の環境経営目標（2024年度）

◆ 本業目標

当社はEA21委員会を中心に環境負荷の削減を目標として、自己チェック結果をもとに、目標を設定します。

2023年度の実績から見直しを行い、以下の3項目になります。

- 1.CO2排出量の削減、②ガソリンの使用量の削減
- 1.CO2排出量の削減、④軽油使用量の削減(4tD)
- 4.工業用水量の削減

◆ 備考

- ✓ CO2排出係数、(株)新出光 0.497kWh(令和3年度調整後排出係数)を令和5年6月から現在まで使用しています。
- ✓ 現地審査員の指示にて、2023年度の環境経営目標の実績から原単位を使用します。使用する項目は、以下のとおりです。
 - ・（ 1.CO2排出量の削減、①電気使用量の削減 ）
 - ・（ 1.CO2排出量の削減、③軽油使用量の削減(重機) ）
- ✓ 環境経営目標の（ 3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上 ）に処理量を記載します。
- ✓ 5.マニフェストの全電子化の推進の目標値の計算式を変更しました。
- ✓ 化学物質は使用していないので目標から除外した。

環境経営目標		(基準年)2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
1.CO2排出量の削減	総量	1,125,666	1,114,409	1,103,153	1,091,896
	(kg-CO2)		(1%減)	(2%減)	(3%減)
	①電気使用量の削減	総量	438,760	434,372	429,984
		原単位	434,372	429,984	425,597
		(処理量/kWh)	0.58	0.58(1%減)	0.58(2%減)
			0.58(3%減)		
	②ガソリンの使用量削減	総量	10,148	10,045	9,423
		(L)	10,250	10,045	9,423
			(1%減)	(2%減)	(3%減)
	③軽油使用量の削減(重機)	総量	329,486	326,191	322,896
		(L)	329,486	326,191	322,896
			326,191	322,896	319,601
		原単位	0.78	0.78(1%減)	0.78(2%減)
		(処理量/L)	0.78(3%減)	0.78(2%減)	0.78(3%減)
	④軽油使用量の削減(4tD)	総量	12,684	12,556	12,428
		(L)	12,812	12,556	12,428
			(1%減)	(2%減)	(3%減)

注) 処理量(中間処理量)：基準年実績値(2023年度)256,661 t/年

8.次年度の環境経営目標（2024年度）

環境経営目標		(基準年)2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
2.グリーン製品の販売・購入の推進					
①RC40・RM25販売量	総量 (m ³)	202,074	204,095	206,115	208,136
			(1%増)	(2%増)	(3%増)
②グリーン製品の購入	総量 (件)	8	9	10	11
			(1件増)	(2件増)	(3件増)
3.受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上	総量 (t)	256,651	100%	100%	100%
	処理率 (%)	100%			
4.工業用水量の削減	総量 (L)	28,208	27,926	27,644	27,362
			(1%減)	(2%減)	(3%減)
5.マニフェストの全電子化推進	割合	55	56	56	57
	(%)		(1%増)	(2%増)	(3%増)

9.次年度の環境経営計画（2024年度）

◆ 計画の概要

各目標に計画項目を設定し、EA21委員会で各担当者を決めます。実施状況の判定は各担当者が、月事で5段階評価をおこない、点数を用いて3か月/期評価点、四半期総合点から再度5段階評価をおこない、目標実績と比較していきます。

実施状況の判定区分は以下の通りです。

◎：取組がよく実施されている	（評価点） 4点	（期評価） 12点	（四半期評価） 48点
○：取組が実施されている	（評価点） 3点	（期評価） 11～9点	（四半期評価） 47～36点
△：十分ではない	（評価点） 2点	（期評価） 8～6点	（四半期評価） 35～24点
×：実施されていない	（評価点） 1点	（期評価） 5～1点	（四半期評価） 23～1点
—：判定不可	（評価点） 一点	（期評価） 一点	（四半期評価） 一点

◆ 環境経営計画

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2023年度			2024年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
1.CO2排出量の削減						
①電気使用量の削減	(1)室温の設定温度(冷房27度、暖房25度)を決め実行する。	36/○	43	○	44	○
	(2)定期点検・清掃の実施	36/○	40	○	45	○
	(3)不要な照明等の消灯	36/○	35	△	36	○
	(4)PCの消し忘れの確認	36/○	32	△	36	○
②ガソリン使用量の削減	(1)アイドリングの手順を決め実行する	36/○	27	△	36	○
	(2)エコドライブの実施	36/○	27	△	36	○
③軽油使用量の削減(重機)	(1)使用後の記録	36/○	36	○	40	○
	(2)低燃費使用の機械の運用	36/○	—	○	—	○
	(3)破砕機等の無負荷運転の実施	36/○	40	○	41	○

9.次年度の環境経営計画（2024年度）

◆ 環境経営計画

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2023年度			2024年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
1.CO2排出量の削減						
④軽油使用量の削減 (4tD)	(1)エコドライブの実施	36/○	29	△	36	○
	(2)タイヤの空気圧点検	36/○	36	○	40	○

環境経営目標	計画項目	実施状況の判定区分				
		2023年度			2024年度	
		計画	実績	5段階実評	次年計画	評価目標
2.グリーン製品の販売・ 購入の推進						
①RC40・RM25販売 量	(1)営業活動による販売 の推進	36/○	37	○	36	○
	(2)毎日の品質管理	36/○	32	△	36	○
②グリーン製品の購 入	(1)購入の推進	36/○	36	○	36	○
3.受託した産業廃棄物 のリサイクル率の向上	(1)安定した処理速度の 遵守	36/○	36	○	40	○
	(2)受託した廃棄物の選 別	36/○	32	△	36	○
4.工業用水量の削減	(1)節水の呼び掛け(適 正な散水による粉塵の 抑制)	36/○	32	△	36	○
	(2)蛇口の閉め忘れ確認	36/○	32	△	36	○
5.マニフェストの全電子 化の推進	(1)契約数の確認	36/○	48	◎	48	◎
	(2)お客様への呼び掛け	36/○	36	○	40	○

10.環境関連法規等の遵守状況（2023年度）

・当社の事業活動・製品及びサービスに適用される主な環境関連法規は、次のとおりです。

・2023年度の事業活動に対して遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者から訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	中間処理事業	○
廃棄物処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	収集運搬業	○
特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	特定特殊自動車 (油圧ショベル、バックホウ)等	○
フロン排出抑制法	事務所内空調機	○
騒音規制法	破碎機	○
振動規制法	破碎機	○
計量法	計量器	○

〈評価区分〉

○：遵守 ×：不遵守 —：該当なし

11.代表者の全体評価と見直し指示（2023年度）

◆ 全体評価

本年度の取組について全体評価を行いました。

まず、電気、軽油（重機）が仕事量の如何により変動率がある為に、前年度の現地審査員の指示のもと、原単位による評価を取入れました。受託処理量は前年度より多い中、電気・軽油の使用量は削減できており、前年度実績の原単位を0.05%以上も向上した結果となりました。今後も評価していくうえで、本年の実績から新たに目標値を設定し、モニタリングを行っていきます。

当社は、ガソリン使用に関して営業車（社用車）のみ管理していましたが、本年度の中期から個人車のガソリンも会社管理していく事となり、設定した目標値を大きく上回る結果となって、目標未達成となりました。次年度は再度、目標値を設定して取組強化に努めていきます。

また、軽油（4tD）が目標未達成です。4tDは、働き方改革による運搬費の高騰や年々上がり続ける燃料費など、さまざまな理由から仕事量の増減が激しく目標値の設置が難しい状況です。本年の取組評価は少し厳しくしていますが、毎年の実績値から目標値を設定して、取組の強化を行って、目標達成を目指していきます。

最後に未達成となったのが、工業用水量の削減です。年々使用量が上がっていったので、前年度の実績から目標値を変更していましたが、達成率があと2%足りない結果となりました。次年度の目標達成に向け、本業目標に掲げて、モニタリングしていきます。

環境・安全・品質・出来高と向き合いながら、全従業員一丸となって、EA21に取組んで参ります。

◆ 見直しの指示の結果

環境経営目標と環境経営計画はEA21委員会を中心におこない各部門会議で、見直しを行います。見直しの結果は以下のとおりです。

- 1.CO2排出量の削減、②ガソリンの使用量の削減
- 1.CO2排出量の削減、④軽油使用量の削減（4tD）
- 4.工業用水量の削減

以上を本業目標として、目標達成できるように努めてまいります。

<今日もご安全に>



代表取締役

葛 城 亮